



カゴメ株式会社

本社

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目14番15号
TEL. (052) 951-3571 (代表)

東京本社

〒103-8461 東京都中央区日本橋浜町3丁目21番1号
日本橋浜町Fタワー
TEL. (03) 5623-8501 (代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

Printed in Japan

カゴメ株式会社 統合報告書 2025



KAGOME INTEGRATED REPORT

統合報告書

2025

KAGOME

KAGOME INTEGRATED REPORT 2025

THEME

農から価値を形成する力を育み、未来につなぐ

POINT

10年の歩みと、さらなる成長に向けて



CONTENTS

SECTION 1

カゴメの価値観

01 KAGOME PHILOSOPHY

SECTION 2

トップメッセージ

03 TOP MESSAGE

SPECIAL FEATURE

カゴメの10年と現在地、次なる10年へ

- 09 数字で見るカゴメの進化
- 11 2025年のありたい姿、ビジョンに向けて歩みを進めた10年
- 15 次の10年に向けて
社会課題解決を競争力につなげ、持続的な成長を実現する
- 16 SPECIAL MESSAGE
—FROM EXECUTIVE OFFICER
—FROM STAKEHOLDER

SECTION 3

カゴメのバリューチェーンと企業価値向上

- 19 自然の恵みを活かす人の力
—受け継がれる志と技術—
- 21 カゴメの価値創造プロセス
- 23 農から価値を形成する
グローバルバリューチェーン
— 品種開発・栽培
— 生産(一次加工・二次加工)
— 商品開発・需要創造
- 29 事業概況
- 31 CFO／CRO MESSAGE

- 33 企業価値向上へ向けた取り組み
- 35 MD&A
- 37 財務(連結)・非財務ハイライト
- 39 事業戦略
— 国内加工食品事業
— 国際事業

SECTION 4

サステナビリティを支える経営体制

- 43 サステナビリティガバナンス
- 47 価値創造基盤の強化 —マテリアリティへの対応
— 持続可能な地球環境
— 安心・安全な商品の提供
— 多様性の尊重・人的資本の拡充
— 人権の尊重
— 持続可能なサプライチェーンの構築

SECTION 5

コーポレート・ガバナンス

- 67 EXTERNAL DIRECTOR MESSAGE
- 69 コーポレート・ガバナンス
— 取締役会・監査等委員会
— 内部統制(リスクマネジメント+内部監査)
- 81 役員一覧

SECTION 6

財務パフォーマンス／企業情報

- 83 財務・非財務10ヶ年データ
- 85 連結財務諸表
- 88 会社概要
- 89 株式情報

編集方針

カゴメグループは1999年度の環境報告書発行から現在まで、事業を通じた社会貢献への取り組みを「サステナビリティレポート」(CSR活動報告)や「カゴメストーリー」(会社案内)を通してステークホルダーの皆様にご報告してきました。本報告書は、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様に、カゴメの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えすることで、新たな対話の機会を創出することを目的として発行しています。また、本報告書に掲載しきれない財務情報やCSR活動報告については、当社Webサイトで情報をご覧ください。

なお、本報告書は代表取締役社長をはじめ経営層が積極的に制作に参画しており、内容については取締役会にて審議・承認を得ています。

 当社Webサイト
<https://www.kagome.co.jp/company/>

表示単位

本報告書で表示している金額のうち、億円単位のものは一億円未満を切り捨て、百万円単位のものは百万円未満を切り捨てて表示しています。また、%は四捨五入で表示しています。

報告対象期間・範囲

報告対象期間は2024年1月1日～2024年12月31日ですが、必要に応じて一部当該期間の前後の活動に関する記述も含まれます。報告対象範囲はカゴメ株式会社及び連結子会社となりますが、カゴメ株式会社のみの記述なども一部含まれます。

参考ガイドライン

本報告書は、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワーク及び経済産業省「価値共創ガイドライン」を参考にしています。また、CSR活動については当社Webサイトで報告しており、本報告書ではESGの側面からハイライトを掲載しています。

【見通しに関する特記事項】

本報告書に掲載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは本報告書作成時点の当社の判断に基づくものであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。今後、様々な要因の変化によって、記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。